

培良中学校の特色化について

◇ 実施時期

(1) 特色化に向けた具体的な取組

令和 5 年度から順次実施

(2) 学校選択制度の導入

令和 6 年度

【特色化のコンセプト】

生徒一人一人がいきいき活躍する学校
わくわくどきどきがとまらない学校
～ [個個が輝く・個個が高まる] ～

◇ 特色化に向けた具体的な取組（イメージ）

(1) 「いきいき」～一人一人の心を高める～

ア 少人数によるきめ細かな指導等

- ① 少人数指導の拡充
- ② I C T 活用強化プログラムのための環境整備

イ 体験を通した協働的な活動

- ① 職場体験学習の充実（保育所、こども園、福祉施設、給食センターなど市内事業所等における体験学習の拡充）
- ② 大学や地元企業、農業関係団体との連携による体験学習の実施

ウ 専門家によるきめ細やかな教育推進

- ① スクールカウンセラー（市費負担）の配置時間の増加
- ② 外国語指導助手の配置

(2) 「わくわく」～一人一人の学びを高める～

ア 「外国語教育及び国際交流の推進」

- ① 外国語指導助手の配置（再掲）
- ② オールイングリッシュ授業

イ 「未来につなぐ理系教育の充実」

- ① 高校等の教員や施設設備の協力を得た授業の実施
- ② 外部人材、外部資源の活用

(3) 「どきどき」～一人一人の能力を高める～

ア 新たな部活動の創設に向けた取組

- ① e スポーツ活動
専用の PC や通信環境を整備し、既存の部活動に新たな活動として取り入れ、チームスポーツとして活動

イ 外部主体との連携や外部講師の活用

(部活動の地域移行とも併せて)

- ① 培良中ブロックでの「地域ハンドボール部」の創設
学校部活動との連携、小学生の参加、外部コーチの招へい
- ② スポーツクラブや大学などとの連携

(4) 関連施策

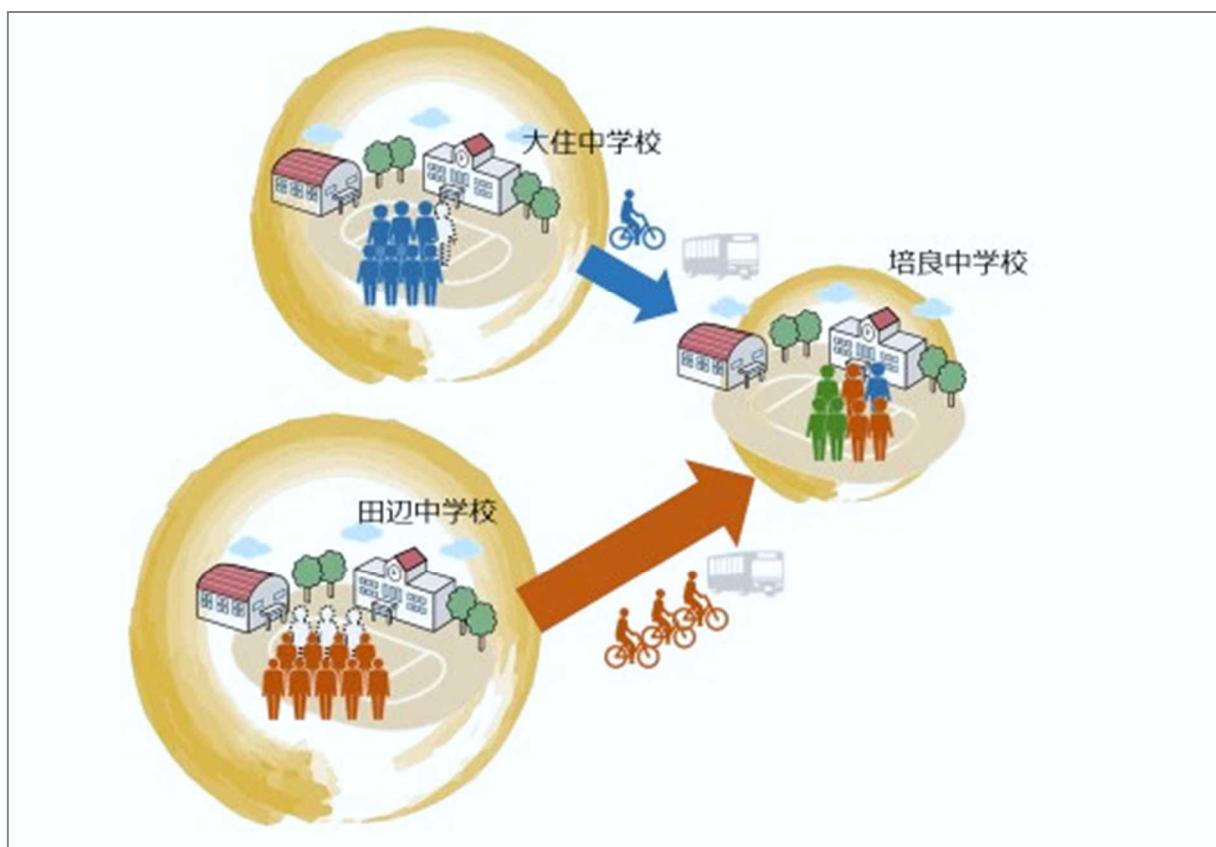
- ① 学校施設又は設備の整備又は改修
- ② 通学手段の充実
- ③ 大学施設等の活用

◇ 学校選択制度の導入

特色化に向けた取組を通じ、自らの個性や能力を伸ばしたいと希望する子どもたちが、校区を越えて通学（※）できるように「学校選択制度」の導入を令和6年度から予定しています。

（※ 田辺中学校区、大住中学校区にお住まいの方が学校選択制度を利用して培良中学校へ通学することをいいます。）

（イメージ）



学校選択制度の導入にあたり、通学手段（自転車通学の際の安全確保、公共交通機関等との調整）や通学費補助等制度面での検討を進めています。

令和5年度の主な取組

(10,564千円)

「いきいき」～一人一人の心を高める～

●少人数によるきめ細かな指導等

1. I C T活用強化プログラムのための環境整備

校内・校外にさまざまな情報をオンラインで配信できるよう、スタジオ機能を確保した放送室の整備を進めます。また、デジタル教材の活用を通じ、生徒一人一人の習熟度を高めます。

●体験を通した協働的な活動

2. 職場体験学習の充実

企業、専門学校等への進路体験学習を充実するとともに、農業体験学習も行い、体験を通した協働的な学びを深めます。

●専門家によるきめ細やかな教育推進

3. スクールカウンセラーの配置

学校生活において、生徒が抱えるさまざまな悩みや不安の解消に向け、S C(スクールカウンセラー)の追加配置を行います。

「わくわく」～一人一人の学びを高める～

●外国語教育及び国際交流の推進

4. 外国語指導助手の配置

生徒がより英語に親しめるよう、A L T (外国語指導助手) を追加配置し、授業だけでなく、休み時間にも常にふれ合えるようにします。

●未来につなぐ理系教育の充実

5. 高校や大学との連携

生徒が近隣の高校や大学と連携し、現在行っているカリキュラムとより専門的な学びをつなげ、ときには教室から出て、様々な体験を通して深い学びの機会を設定します。

「どきどき」～一人一人の能力を高める～

●新たな部活動の創設に向けた取組

6. e- s p o r t s活動の実施

専用のP Cや通信環境などを整備し、既存の部活動に新たな活動として取り入れていきます。

●外部主体との連携や外部講師の活用

7. 地域ハンドボールクラブの創設

地域の指導者のもと、ハンドボールの楽しさやチームスポーツの良さを見出せる活動を行います。

●広報啓発